

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

いまい かねゆき  
財務部長 今井 兼之



### 仕事に対する基本姿勢

本市において今後は、市税収入の増加があまり見込めない一方で、社会保障関係経費の増加、公共施設の耐震化、老朽化への対応など財政需要の拡大が予想されており、市民サービスの維持・向上が困難となる状況が想定されます。

このような状況においても、市民の方々に対し、最も身近なサービスの提供を担う基礎自治体として、将来にわたり安定した自治体経営を実現することが求められていることから、選択と集中の観点で予算編成を行うなど、持続可能な安定した財政運営を堅持してまいります。

また、市の財産は、市民の財産という考えの下、市有地の有効活用については、資産管理が重要なことから、貸付や売却等を計画的に進め、市の財源確保を図ってまいります。

さらに、市の建設工事及び建設工事に係る設計業務委託、物品の購入等に関する契約業務も所管しており、特に公共工事の発注にあっては、価格だけでなく品質にも配慮した発注方法に努めるとともに、契約事務に求められる透明性・公正性・競争性及び履行を確保するため電子入札を導入しております。

### 平成26年度に取り組む重点課題

#### 1 将来にわたり、持続可能な安定した財政運営の堅持

- ・ 財政規律を堅持しつつ、中長期的な視点に立って持続可能な安定した財政運営を行います。また、単年度の予算については、重点事項に対する優先的な予算配分など、減り張りのある予算編成を行います。
- ・ 事業効果を見ながら、業務の見直しや民間委託等の手法を取り入れるなど、担当所属とともに検討し、財政運営の効率化を図ります。

- ・市民のニーズに的確に応え、質の高い市民サービスの提供に努められるよう、適正な行政水準を確保できるよう努めます。

## **2 市有地の有効活用の推進**

- ・市有地の有効活用については、貸付や売却等を計画的に進め、市の財源確保を図ります。

## **3 市内企業・業者への優先発注推進**

- ・建設工事・物品購入等の発注にあたっては市内企業・業者を中心に競争入札を実施するとともに、大規模な工事につきましても、東大阪市内での下請要件を設定するなど、市内企業・業者にとってできるだけ受注しやすい発注手法を検討してまいります。